

支援センターがめざすもの

日向市キャリア教育支援センター センター長 水 永 正 憲

支援センターは、先生方に必要とされ、頼りにされることをめざしたいと考えています。支援センターは、学校（先生）をお客様とする「営業」機関でありお客様である学校（先生方）に役立つもの、喜ばれるものを提供していくことをミッションにしたいと考えています。子供たちの未来づくりを支えるのは、学校であり、保護者であり、地域ですがその中でとりわけ産業界が果たす役割には大きいものがあります。その意味で産業界の理解と協力を得て、先生方をサポートし、少しでも力になればと願っています。

昨年からスタートした「よのなか教室」を先生方にもっともっと活用して頂けるように知恵と思いを絞っていきたいと思います。

若竹の伸びゆくごとく子どもらよ 真直ぐにのばせ身をたましひを

日向商工会議所 会頭 三 輪 純 司

この牧水の歌が教育の理想であろう。窮屈に考える必要はない。〇〇べき論の呪縛から脱出し、物事にとらわれず自由に考え自在に生きる。マナーもだが、それ以前に多少、荒削りでも全力で問題にぶつかる姿勢を持つ子どもたち。

そんな子どもを創る為にはまず私達が楽しく生きていく様を見せる事だと思う。「いつか未来の子ども達に心のバトンをつなぐため頼りになるように大人になるために」（さだまさし詞 抜粋）

試行錯誤を楽しみましょう。



キャリア教育通信への期待

日向市教育長 北 村 秀 秋

日向の大人たちの活動には本物が多い。農業小学校を立ち上げたかと思うと今年は2校目が生まれた。キャリア教育支援センターを開設すると、活動理念を「日向の大人はみんな子供たちの先生」という言葉で表し「よのなか教室」を開設された。

この教室の話し手に多くの手が挙がり、実績を積み重ねておられる。快挙である。この取組みは一時的なものではない。継続していこうとする日向の大人たちの心意気がある。今度は、「通信」も発刊されるという。また、新しい何か（実践）が生まれてくる予感がする。楽しみである。



日向市教育講演会

日時：平成27年8月5日（水）
午前9:30～

会場：日向市中央公民館

講師：児美川孝一郎氏

（法政大学キャリアデザイン学部教授）

演題：「激動の時代をどう生きるか」



～プロフィール～
1963年東京都生まれ。
東大教育学部卒。
教育学専攻。
法大でキャリア教育論を
講義。



市内のどの学校でもキャリア教育推進の中で「核となる計画、実践」が組み立てられており、確実にキャリア教育が進められています。

当センターでは、現在約100名の「よのなか先生」を登録しています。ありとあらゆる企業、職種の方々です。どうぞご活用ください。キャリア教育センターでつなぎ役をいたします。

連絡先 ☎57-3522 キャリア教育支援センター

よのなか教室6月の予定

1日（月）打合せ／8日（月）センター会議 よのなか教室研修会／10日（水）日向工業高校での定期講座（よのなか先生）／16日（火）大王谷学園よのなか教室／17日（水）美々津中学校区の合同研修会



大王谷学園中等部7年生

「多くの大人から、
仕事について話を聞こう」
(平成26年10月10日)

- ◎「職場訪問学習」(11月4日)に備えて「よのなか教室」を実施。多くの大人から社会の生の話を聞いて、仕事や働く意味を考えた。
- ◎2時限を使い、6人の講師が3回ずつ話をし、子供たちは3人の大人から話を聞いた。

財光寺小学校5年生

高校生と語る「何のために学ぶのか」
(平成27年3月5日)

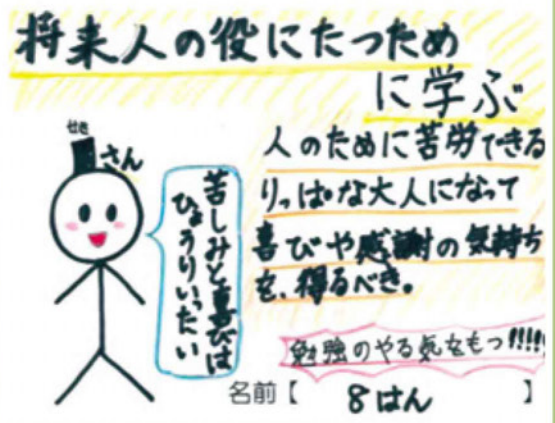
- ◎「何のために学ぶのだろう」というテーマで、昨年9月より8人の大人から「よのなか教室」で話を聞いてきた。
- ◎その結果をグループ毎にまとめて高校生(財小出身)の前で発表し、高校生からたくさんのアドバイスをもらった。
- ◎高校生たちの話を聞く子供たちの目は、終始輝いていた。



アドバイスをくれた高校生の皆さん



高校生の言葉には親しみと夢があった



子供たちの発表資料の1コマ